

1 公共施設等全般について

(1) 「磐田市公共施設等総合管理計画」について伺う。

- ① 「公共施設等マネジメントに関する基本的な方針」の基本目標達成のための3つの見直し方針「財産管理」「質」「量」の進捗状況ならびに課題について伺う。
- ② 長寿命化の取り組みの中で、とりわけ小中学校の施設の修繕について、現状をどのようにとらえ、どのように対応していくのかを伺う。
- ③ 計画では、量の見直しにおいて、ハコモノ施設等において延床面積を約28.8%縮減すれば財政的に持続が可能と推計されているが、毎年の保全費用も含め、現状はどのようになっているか、また課題を伺う。
- ④ 施設の管理が多部門にわたっており、管理コストがかかっていると思うが、現状はどのようになっているのか、伺う。また今後は全庁を横断し一括して管理する部門の整備の必要性について伺う。
- ⑤ 遊休市有地の有効活用をどのように考え、現状どのように行っているか、伺う。
- ⑥ これまでの市有地の売却実績を伺う。また売却に至った経緯を伺う。
- ⑦ 今後、売却や賃貸等を考えている施設・遊休地等はあるのか伺う。

(2) その他の資産について伺う。

- ① バス・公用車などの運用実態と管理方法ならびに費用対効果について伺う。
- ② 学府バスの運用実態、評価及び今後のさらなる活用方法について伺う。

2 骨髄バンクのドナー登録の推進およびドナー助成制度の創設について

- (1) 骨髄バンク推進の啓発活動についてどのようなことを行っているのか伺う。
- (2) 事業を推進するにあたっての課題を伺う。
- (3) 県内でも制度創設をする自治体がある中で、提供ドナー助成制度の創設について考えているのか伺う。

3 教育行政全般について

- (1) 教員の多忙化について伺う。
 - ① これまでの答弁の中で、「タイムカードを用いて、80時間以上の超過勤務の有無やその原因を調査する」とあるが、具体的な結果と対策について伺う。
 - ② また「校務を支援するための電算システムの導入により多忙化の要因等を分析し、職務内容の見直し等を進めている」とのことだが、具体的にどのような電算システムを導入し、多忙化の要因は何であり、どのように職務内容を見直ししたのかを具体的に伺う。
 - ③ 上記の①、②以外にも、どのような多忙化の実態があり、その原因について把握しているのか伺う。またどのように改善を進めているのかを伺う。
 - ④ 教育委員会（定例教育委員会も含む）内でどのような議論がされているのかを伺う。また多忙化の解消に家庭教育支援員をはじめとする地域の力の活用等について考えがあるのか伺う。
- (2) 学校教育の役割は、子どもたちが確かな学力を身につけることにあると思う。磐田市内の子どもの学力についてどのように把握されているのか伺う。
- (3) これまでの学力テスト・学習状況調査で明らかになった結果と、「子育て世帯の生活に関する実態調査」の結果から見えてきた内容を、今後どのような体制でどのように対応していくのかを伺う。

(4) 外国人の子どもたちの教育環境について伺う。

- ① 保護者の派遣元や派遣先の企業との連携は、どのように行っているのかを伺う。
- ② 子どもたちの日本語の習得度や学校での様子ならびに進学等その他課題について伺う。